

# 稚内南小学校だより「まこと」

誠

第10号

■発行日 令和6年12月25日  
■発行者 稚内市立稚内南小学校  
■Tel 0162-23-3329 FAX 22-7924

■HP:  
<https://wakkanai-minami-e.edumap.jp/>

■QRコード



## 個別懇談・学校評価

ご協力ありがとうございました

12月2日から行いました個別懇談では、ご多用の中、小学校に足をお運びいただき、誠にありがとうございました。

また、学校評価へのご協力もありがとうございました。いただいたご意見等は今後の学校運営に生かしていきます。

詳しい結果は3学期にホームページに掲載いたしますので、上記のURL・QRコードから入り、ご覧ください。

2学期は、学芸会や参観日に多数の保護者の皆様に参観いただき、また学年ごとの参観日やPTA学年・学級レクにご協力いただき感謝申し上げます。

3学期はスキー授業もあります。また皆様のご協力をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## 1月の行事予定

日	曜	行事予定
15日	水	始業式 登下校指導①
16日	木	スキー学習(4年) 登下校指導②
17日	金	スキー学習(6年)
21日	火	活動委員会
22日	水	スキー学習(5年)
23日	木	スキー学習(3年)
24日	金	スキー学習(6年)
29日	水	スキー学習(5年)
30日	木	ニコタイ スキー学習(4年)
31日	金	スキー学習(6年)

## 3年生 警察のお仕事 ～外部講師を招聘して～

12月6日(金)に、3年生社会科「警察のお仕事」の学習で、旭川方面稚内警察署から4名の講師をお招きして、警察官のお仕事についてお話を聞き、実際に仕事の一部分を体験させていただきました。

普段見る警察車両の内部を見学させていただきました。また、仕事体験では、鑑識の作業の一部分を体験してもらい、子どもたちは大きな関心を持ちました。

このような体験活動を各学年の教育課程に位置づけ編成し、充実を図っています。

## 書き損じハガキ・キャンペーン ～ご協力お願いします～

稚内ユネスコ協会から、「書き損じハガキ・キャンペーン 2025」へのご協力のお願いがありました。

市内小・中・高・大学・図書館 21カ所にポストを設置し、ご協力いただいているところです。

つきましては、南小学校においても冬季休業終了後の週までポストを設置しています。ご家庭に書き損じハガキがありましたら、3学期始業日にぜひお持ちいただきポストに投函していただきますようご協力お願いいたします。

## 2学期を終えるにあたって

校長 三野宮 誠 一

明日から本校は20日間の冬休みとなります。児童にとってじっくりと物事に取り組むことができるよい機会となります。学習に関して言えば、今年学んだ内容に関して苦手なところの復習や発展的な学習をする時間を十分もつことができます。特に6年生については今後の中学進学を見据え、この冬休みを有効に活用してもらいたいと思います。

さて、12月18日に南地区教育研究会の公開研究会のため、全学級の授業を南地区教職員や市内の教育関係者に公開しました。本校は道教委指定事業「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を今年度までの2年間受けており、その成果を発表する会でもありました。以下に現時点での事業を通じた成果をご紹介します。

### 1 組織力の向上

3年以上の学年では特別に配置された教科担任が授業を担当することにより、複数の教員が学年の児童の成長を見取ることができています。教科担任は必要に応じて学年運営に加わっています。週1回来校するスクールソーシャルワーカーは、家庭と相談機関や専門機関等をつなぎ、家庭が抱える困りごとの改善・解決に向けて同伴する役割を果たしています。教員業務支援員には、主に学級運営業務を支援してもらっています。テストやドリルのまる付け、学級掲示物のはり替え、教室の環境整備等、学級担任が行う業務を代行しています。

### 2 学校運営協議会の学校運営への参画

学校運営協議会がスタートしたことに伴い、学校と地域社会をつなぐ役割を受けもつこととなった「南地区コーディネーター」は、校外授業や外部講師の招へいに係る前段部分の事務を担っています。このことに関する担任の事務時間の縮減が進んでいます。学校運営協議会では今年度のテーマを「学力の確実な定着」「読書活動の推進」とし、これらの実現のために地域社会から学校を支援していただくボランティアを、事業の都度、募りました。「低学年の算数科学習支援」では、児童の習熟状況やアウトプット面で見取りを、ボランティアの皆様为主体的に行ってもらっています。

### 3 校務と授業のDX化

指定事業を推進するため、本校は今年度まで事務職員が2人体制となっています。事務職員は校務のDX化を次のとおり進め、道教委の学校DXアドバイザーからは高い評価を得ています。

○マチコミアプリの導入（アプリを通じた欠席報告）

○児童・保護者向けアンケートのオンライン化

○学校会計におけるネットバンキングの活用

○南地区3校間のオンライン備品貸借システムの構築

授業のDX化については、南地区の3校とも、端末を通して「他者の考えを知る」ことを通じて自分の考えを深める機会づくりに努めてきました。これまではお互いのノートを見合うといった時間を要する活動が、今年度市内校に導入された「ロイロノート」の活用により瞬時にクラスメートが書き込んだ考え等を見ることができるようになりました。端末の活用については「必要に応じて児童が自分の判断で活用する」段階に移行しつつあります。

### 4 授業改革

現在、小学校から高校までどの校種でも、「同じ学習内容を同じペース・同じ手段で学ぶ授業（一斉授業）」から「自分の選択した手段・ペースで学ぶ授業（個別最適な学び・協働的な学び）」への転換を進めています。これは「教員に教えてもらう授業（教員主導の授業）」から「児童が自ら学ぶ授業（児童主体の授業）」への転換とも言えます。今までは「教員が児童にどう教えるか」の視点で研究授業は見られていました。現在は「児童がどう学んでいるか」の視点で見られています。

本校では昨年度を、教員一人一人が先行実践や他地域の実践に学ぶ期間としました。そして今年度は学んだことを勇気をもって試行してみる期間としています。学年によってペースは異なりますが、授業参観等を通して「変化」を感じた保護者の皆様もいるかと思います。

私は各学年の授業での様子を日々観察していますが、授業に臨む姿勢が「受け身」から「能動的」に大きく変わった児童をたくさん見えています。12月中旬に全学年でCRT学力検査を実施しました。授業を変えたことによって、児童の学習したことの定着状況は向上したのか、そうではないのかを3学期に検証し、今後の授業づくり（授業改革）に生かしてまいります。

南小学校では、全ての教職員が主体的に校務に関与し、改善のための方策を考え、協働的に実践していく体制づくりに今後も努めてまいります。保護者の皆様を含めた地域社会の皆様への学校運営への益々の参画をお願いいたします。